



大府キャンパス完成

人間環境大 看護学部を新設

人間環境大(岡崎市)大府キャンパスの完成式が二十九日、大府市江端町三であった。看護学部と大学院看護学研究所(博士前期・後期課程)を新設し、四月に開学する。

大府キャンパスは、JR大府駅西口近くの

江端調整池の上に人工地盤を造って建設。鉄骨造り八階建て、延べ床面積六千五百八十平方メートル。教室や各種実習室、図書館などのほか、地域住民との交流や学生ボランティアの窓口となる地域貢献室を設けた。建設費は約



完成した人間環境大の大府キャンパス校舎。大府市江端町で

二十億円。

調整池の機能を保つ

ため、しゅんせつ工事も合わせて実施。建設費のうち一億五千万円は、その費用として市が補助した。

完成式には関係者六十人が出席した。人間環境大を運営する学校法人河原学園の河原次郎学园长は「看護学部設立には苦難もあつたが、大府市や関係者の皆さんの協力で完成できたことに感謝したい」とあいさつ。八木聡明学長は「看護に対するニーズはこれからも高まっていく。看護学を担う人材を育てたい。地域への貢献と連携が大きな役割であり、学生には地域とともに活動してほしい」と話した。

(石井宏昌)

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。